

会員さん、こんにちは！

塚本会頭は、多くの会員の皆様との対話を通じ、魅力的な商工会議所づくりを目指しています。現場の声を会議所運営に、会頭の会員訪問レポートをお届けします。

タクシーを通じて 社会課題の解決に チャレンジ！

タクシーや貸し切りバス運行事業を行う都タクシー株式会社
さんを訪問し、社長の筒井基好さんにコロナ禍での業況や
新サービスの展開についてお話を伺いました。

（訪問日：12月13日）



（撮影時のみマスクを外していただいています）

都タクシー株式会社

代表取締役 筒井 基好 さん

1940年（昭和15年）、現社長の曾祖父が創業し、2020年に創業80周年を迎えた。現社長は2005年に33歳で先代から社長を引き継ぎ、「公共交通機関としての責務を果たし、社会に貢献する」という創業時からの理念を第一に事業展開している。新型コロナウイルスの感染拡大で業況は非常に厳しくなったが、感染者の移送に苦慮する保健所からの相談を受け、2020年8月にコロナ送迎専用車を3台導入した。車内を飛沫循環抑制車両に改造して運転手の安全を確保しつつ、軽症患者や感染の疑いのある人の移送に尽力している。

誰もが気兼ねなく利用できるタクシーを目指して

様々な新サービスを展開する同社。事前登録しておくことで、産気付いた妊婦の送迎や子どもみでの利用、チャイルドシートの搭載など、妊婦や子どもが安心して乗車できる「子育てタクシー」や、車いすユーザーが遠慮せずに気兼ねなく利用できるよう、配車アプリで車いす対応車両を指定できるサービスを日本で初めて導入した。「地域の困りごとに対してタクシーを通じて解決できないか、常に考えている。日常生活の中でタクシーは特別品ではなく、もっと身近で生活の一部と提供していただけたらいい。」と筒井社長。今後も、地域社会に不可欠な公共交通としてサービスを展開していく。

応援！



塚本会頭

コロナ禍の影響で公共交通全体が大変ご苦労されている中、使命感を持って地域社会のために様々なサービスを展開し、事業を継続いただいていることに敬意を表します。今後も、創業時の想いを受け継ぎ、“人の移動”のプロフェッショナルとしてより良いサービスを提供し続けられることを期待しています。

運転席・助手席と後部座席の間に隔壁を設け、気圧をコントロールすることで、空気が車内を循環しないように改造しています。



コロナ送迎専用車



他業種からのヒントを得て新しいサービスを始める際は、その意義を社内に伝えるとともに、まずは自分が実践し、見本を示しています。